



## 大学院博士後期課程

学長 井伊久美子

香川県立保健医療大学は、本年4月より、保健医療学研究科看護学専攻博士後期課程の教育を開始しました。

社会の変化に伴い、保健医療ニーズも変化しますが、これに対応するために、地域を基盤とした「地域包括ケアシステム」が推進され、医療・ケアと生活が一体化した地域完結型の体制へと転換が図られています。保健医療の専門職には、職種を問わずさらなる役割拡大が求められています。このような地域包括ケア・人生100年時代ともいわれる変革の中で、平成30年11月6日付けで認可された、保健医療学研究科看護学専攻博士後期課程は、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、地域の看護実践の向上に貢献できる教育者や組織的指導者を育成することを目指しています。すでに、平成29年4月に臨床検査学専攻博士後期課程が開講していますので、地域に開かれ、地域に貢献する大学として、次のステージに入ったと考えています。



看護学専攻博士後期課程開設を記念し、記念フォーラムを開催しました。



そこで、看護師の教育カリキュラムを見直し、令和2年度の入学生から、学部4年間で看護師基礎教育を行い、実践力を備えた人材を養成することとしました。また、保健師・助産師教育については、令和4年度の入学生から大学院で行うこととしております。

本学が地域の医療専門職の拠点として機能し、これからのニーズに応えていけるよう微力ではございますが、尽力したいと考えております。

HANDsご愛読の皆様には、本学発展のために、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 安倍首相来学 令和元年7月9日(火)

安倍内閣総理大臣が、7月9日に本学を訪問されました。

本学では、まず、臨床検査学科3年生の「生体機能検査学実習」を視察し、首相自ら呼吸器の機能測定を体験されました。その後、看護学科2年生の学生と懇談を行いました。学生からは、ストレスの解消法や、組織論など、幅広い質問がなされ、なごやかな懇談となりました。

首相は、学生や教職員との記念撮影等にも気さくにに応じてくださり、学生にも激励の言葉をかけていただき、本学にとってもたいへん貴重なひとときとなりました。



## 新入生宿泊研修

令和元年5月10日(金)～11日(土)

### 看護学科 1年 間城 璃音

5月10～11日に琴平で新入生宿泊研修が行われ、私は実行委員のリーダーとして参加しました。最初は関わったことがない人ばかりで不安でしたが、うどん作りやレクリエーションで緊張もほぐれ、ディベート大会では学科に関係なくみんなが一致団結して闘いを楽しんでいました。

この2日間でたくさんの人と交流でき、友人たちと親睦を深めたり、新しい一面を知ることができました。ここで生まれた絆を大切にしながらこの4年間に有意義に過ごしていこうと思います。



### 臨床検査学科 1年 有田 小夏

入学後すぐに開催される1年生の一大イベントである宿泊研修。学科の枠を超えて活動する場面も多く、それまで話したことのなかった人とコミュニケーションをとったり、よく話していた人達の知らない部分を発見したりするよいきっかけになりました。

また、先生方が企画してくださった活動だけでなく、学生が企画・準備・進行の全てを行ったレクリエーションも1年生全員で楽しむことが出来たことはとても貴重な経験になりました。



## オープンキャンパス2019

令和元年7月20日(土)

本学の受験を希望される高校生等とその保護者を対象に、オープンキャンパスが7月20日(土)に開催されました。前日は雨で、当日の参加者が心配されましたが、総勢553名(高校生等314名)の参加がありました。

参加した高校生等は、看護学科・臨床検査学科に分かれ、実習室の見学や体験を行いながら在學生や教員に熱心に質問していました。



国際交流の報告

平成31年3月4日(月)～18日(月)

看護学科 4年 田尻 瑞希

3月に学生3名がカナダの南アルバータ工科大学へ交換留学しました。留学の経験もなく、異国の地ということもあり、不安でいっぱいでした。しかし、検査や呼吸セラピーなどの医療知識を学んだり、観光して現地の人とコミュニケーションをとったり、2週間充実した日々を過ごすことができました。今回の学びを生かして、将来国際交流に関われたらと夢を描いています。

臨床検査学科 3年 砂川 沙紀

南アルバータ工科大学(SAIT)への交換留学に参加しました。SAITの学生とともに講義や実習を受け、さらに放課後のクラブ活動にも参加させていただきました。また、Calgary Lab Servicesという検査を行っている施設への見学にも連れて行っていただきました。そこで、日本の検査との違いを見ることもでき、学ぶことができ、本当に良い経験ができたと感じています。



サイエンスキャンプ

令和元年8月24日(土)

今年は、臨床検査コースが①「食品中の細菌をみてみよう」②「がん細胞をみつけよう」、看護コースは「聴診器で聴いてみよう!身体のいろいろな音」というテーマで県内の中高生(臨床検査コース12名、看護コース13名)が実習に取り組みました。臨床検査コース「食品中の細菌をみてみよう」では、ヨーグルトと納豆を用いて染色塗抹標本作製し、細菌の大きさや形態について学びました。参加した中高生は、実習をサポートしている本学学生や教員スタッフに質問をしながら実習を楽しんでいる様子でした。



国家試験合格状況・進路状況

平成30年度の国家試験は、看護師96.9%、助産師100%、保健師88.9%、臨床検査技師95%の合格状況でした。そして、卒業生は一人ひとりが自分の適性に合った進路を選択し、専門職として次のステップへと進んでいきました。

《国家試験合格状況(平成30年度実施)》

	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
受験者数(人)	65	18	10	20
合格者数(人)	63	16	10	19
合格率(%)	96.9	88.9	100.0	95.0
新卒者の全国平均(%)	94.7	88.1	99.9	86.5

国家試験合格、就職・進学おめでとう!!



《進路状況(平成31年3月卒業生・修了生)》

学 科	看護学科			臨床検査学科	助産学専攻科	
	看護師	保健師	その他	臨床検査技師	助産師	
就職者数(人)	県内	23	6	0	12	6
	県外	24	3	0	7	3
進学者数(人)		7		0	0	
その他(人)		2		1	1	
合 計(人)		65		20	10	

## 新任紹介



近藤 真紀子  
看護学科教授  
領域  
成人看護学

大島青松園のハンセン病回復者への支援、幼い子供を持つがん患者とその家族へのケア、死を看取る看護師へのグリーフケアなど、臨床現場に直接的に還元できる研究、新たなケアの創造につながる研究を目指しています。前任の岡山大学でのがん看護専門看護師の養成や博士後期課程での研究指導の経験も、本学の発展に活かします。



木戸 久美子  
看護学科教授  
領域  
母性看護学

本年4月に母性看護学の教員として着任しました。看護および助産師教育の世界に身を置き約四半世紀が経ちました。この度、香川の地で学生の皆さんと命の尊さや女性の生涯にわたる健康支援のあり方について考え学びを深めていく機会が得られましたことを大変嬉しく思っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



森田 公美子  
看護学科講師  
専門分野  
成人看護学

4月からの新任で、これまでは日本看護協会が認定するがん看護専門看護師として臨床での看護実践や教育に携わっていました。大学での教育におきましては、主には臨床での看護の素晴らしさを伝えながら、学生が充実した学びや学生生活が送れるよう、持っている力を注ぎ努めていく所存です。どうぞよろしく願いいたします。



山崎 未来  
臨床検査学科助教  
専門分野  
分析検査学

藤田医科大学博士課程を修了、博士号を取得し、本年度より本学臨床検査学科助教に着任いたしました。近年、医学はめまぐるしい発展を遂げ、これまで以上に能動的学修が重要となりました。教育・研究活動を通して学生の皆様に自ら最新の知識をアップデートする楽しさを伝えられるよう日々精進します。よろしく願いします。

### ●お知らせ

- ◆ かんらんさい 橄欖祭(大学祭)～ミニオープンキャンパス同時開催～  
令和元年10月19日(土)
- ◆ 公開講座  
令和元年11月11日(月) 会場:香川県社会福祉総合センター

### 【入学試験】

- 大学院入試(看護学専攻・臨床検査学専攻) 令和元年10月26日(土)
- 専攻科入試(助産学専攻科) 令和元年11月30日(土)
- 推薦入試(看護学科・臨床検査学科) 令和元年12月14日(土)
- 一般前期入試(看護学科・臨床検査学科) 令和2年2月25日(火)
- 一般後期入試(看護学科) 令和2年3月12日(木)

タイトルのHANDsは“高い専門的医療技術により、尊い生命を支える人間愛に溢れた温かい手”を意味しています。

### ◆学校への経路

【西方面から】高松から車で30分/ことでん志度線・原駅下車徒歩10分/高松東ICより車で10分  
【東方面から】JR高徳線・JR志度駅から車で5分/志度IC(または、さぬき三木IC)より車で10分



## 香川県立保健医療大学

KAGAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1  
Tel:087-870-1212 Fax:087-870-1202  
E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp  
<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>

